

公益社団法人 地盤工学会 調査・研究部  
平成 26 年度第 1 回調査・研究部全体会議 通算第 1 回調査・研究部会  
議事録

日時	平成 26 年 8 月 4 日 (月) 13:00~17:30		場所	地盤工学会会議室	
部長	杉井 俊夫 (中部大学)	○	★理事	中田 幸男 (山口大学)	○
幹事長	中澤 博志 (復建調査設計)	○	副幹事長	松下 英次 (長野高専)	○
副幹事長	古本 吉倫 (長野高専)	×	前部長	京谷 孝史 (東北大学)	○
研究統括委員会			幹事	ハザリカ ヘマンタ (九州大学)	○
ワゴ幹事			部員	永尾 浩一 (佐藤工業)	○
部員	中澤 博志 (復建調査設計)	○	★部員	兵頭 順一 (東電設計)	○
部員	三好 俊康 (五洋建設)	×	部員	渡邊 諭 (鉄道総研)	×
行事委員会			幹事	松下 英次 (長野高専)	○
ワゴ幹事	平川 大貴 (防衛大学校)	○	★部員	伊藤 和也 (労働安全衛生総合研究所)	×
★部員	川端 伸一郎 (北海道科学大学)	○	★部員	小林 一三 (鹿島建設)	○
部員	佐野 大作 (戸田建設)	○	部員	下山 真人 (大林組)	×
部員	廣岡 明彦 (九州工業大学)	○	ワゴザ-ハ	稲川 雄宣 (大林組)	×
ワゴザ-ハ	坂梨 利男 (鹿島建設)	○	ワゴザ-ハ	重村 智 (日本大学)	○
前部員	小林 喬 (前田工織)	×			
学術情報委員会			幹事	廣岡 明彦 (九州工業大学)	○
ワゴ幹事	井上 波彦 (国総研)	○	部員	金田 一広 (竹中工務店)	×
部員	鈴木 亮彦 (不動テトラ)	○	部員	根岸 昌範 (大成建設)	×

配付資料

資料番号	資料
資料-26-1.1	理事会 (H25/12/25~H26/7/24) 開催報告資料
資料-26-1.2	平成 26 年度 調査・研究部会および常設委員会構成案
資料-26-1.3	調査・研究部事業計画まえばんおよび予算案
資料-26-1.4	調査・研究部規定類および年間スケジュール
資料-26-1.5	平成 27 年度事業方針・計画 (案)、予算 (案) 作成のお願い
資料-26-1.6	平成 26 年度新設研究委員会趣意書および構成案
資料-26-1.7	岩の力学連合会からの意見照会
資料-26-1.8	平成 26 年度新設研究委員会テーマ案公募会告
資料-26-1.9	第 11 回地盤環境シンポジウム論文募集会告原稿
資料-26-1.10	日台合同ワークショップ
資料-26-1.11	激甚災害に関する講演会のご案内
資料-26-1.12	第 49 回地盤工学研究発表会優秀論文発表者賞候補者リスト
資料-26-1.13	第 49 回地盤工学研究発表会請求書発送ミス経緯 (事故報告書)
資料-26-1.14	第 49 回地盤工学研究発表会プログラム編成留意事項の整理
資料-26-1.15	第 50 回地盤工学研究発表会実行委員会構成案
資料-26-1.16	次々回以降地盤工学研究発表会開催支部案
資料-26-1.17	第 59 回地盤工学シンポジウム論文募集
資料-26-1.18	東日本大震災シンポジウム「地盤工学会特別シンポジウム-東日本大震災を乗り越えて-」開催報告
資料-26-1.19	事業企画戦略室からの電子図書室に関する依頼
資料-26-1.20	滞納未収未払金の処理
別添資料-1	

## I. 前回議事録の確認

- ・省略

## II. 理事会 (H25/12/25 ~ H26/7/24) 開催報告

(資料-26-1.1)

- ・資料に基づき説明がなされた。
- ・次回9/26

## III. 全体関係

### 1. 調査・研究部会、常設委員会構成の確認

(資料-26-1.2)

- ・名簿案の確認がなされた。
- ・数件の修正があり、修正後後日確認することとなった。

### 2. H26 年度事業計画まえばんおよび予算

(資料-26-1.3)

- ・資料に基づき説明がなされた。
- ・調査・研究部の報告事項などの資料を作成し、次年度への引き継ぎをすることが必要である。
- ・地盤環境委員会は基本予算は必要ないが、26 万の予算をつけている。

### 3. 調査・研究部会規定類および年間スケジュール

(資料-26-1.4)

- ・資料に基づき説明がなされた。以下の点について指摘があった。
- ・研究企画部門の在り方について今後の存廃について検討を行う。例えば、研究企画部門を運営委員会に吸収するなど今後の在り方を検討する。ただし、地盤環境企画委員会はシンポジウムを開催している。今後、各委員会の長は全体会議に出席することが必要である。今後、活動報告をしていただく。ハザリカ研究統括委員会幹事に状況確認をしてもらうこととなった。
- ・各委員会の年間スケジュールについて説明がなされた。

### 4. 震災報告書編集委員会

- ・合同の報告書はすでに完成している。地盤編および資料編の報告書を現在作成中である

### 5. 東日本大震災合同報告 共通編 3 編刊行記念シンポジウム「地震災害再考 ファンダメンタルをふまえて」

日時：2014 年 6 月 13 日 (金) 10:00~16:30 会場：専売会館ホール (東京・港区芝 5 丁目)

主催：日本地震工学会、土木学会、地盤工学会、共催：日本建築学会、日本機械学会、日本地震学会、日本都市計画学会、日本原子力学会 参加者数：137 名 (会員 123 名、非会員 10 名、学生 4 名)

- ・4. に合わせて報告がなされた。

### 6. H27 年度事業方針・事業計画案、予算案、事業項目の優先度作成依頼

(資料-26-1.5)

- ・資料に基づき説明がなされた。
- ・10%の支出を削減する。
- ・各行事のメリハリをつけて行う。
- ・計画案の修正を 3 回行っていたものを 2 回に減らす。10/27 に提出する。

## IV. 研究統括委員会関係

(研究部門)

### 7. H26 年度新設 (継続) 研究委員会の趣意書および構成について

(資料-26-1.6)

「インフラストラクチャーの断層に関する工学的研究委員会 (地盤工学会・応用地質学会・日本地震工学会の合同研究委員会)」(研究委員会)

「地盤環境研究委員会 (東日本大震災対応調査研究委員会)」(研究委員会) の一年延長および委員追加

- ・新規委員候補：仙頭 紀明 氏 (日本大学工学部土木工学科)

「全国電子地盤図の拡張と運用に関する研究委員会」(研究委員会)

「低透水性土質系材料の活用と性能評価技術に関する研究委員会」(公募型受託研究委員会) (メール審議済み)

「福島第一原子力発電所汚染水問題に関する会長特別懇談会」

(研究企画部門)

- ・各委員会の内容について説明がなされた。
- ・低透水性土質系材料の活用と性能評価技術に関する研究委員会について予算は1 件15 万から1 年15 万円とする。また、現在3 機関の追加参加の応募が来ている。今後、可否を検討する。

8. 岩の力学連合会からの表記変更についての意見照会（岩盤工学企画委員会） **（資料-26-1.7）**

「Japanese Committee for Rock Mechanics」⇒「Japanese Society for Rock Mechanics」

「岩の力学連合会」のままか、「岩の力学会」あるいは「岩盤工学会」

（研究部門）

- ・表記変更について説明がなされた。英文名の変更を行う方向で検討が進んでいる。日本名については現行のままとする。

9. H27 年度新設研究委員会テーマ公募（募集期間 10～11 月） **（資料-26-1.8）**

- ・資料に基づき報告がなされた。

10. 第 11 回地盤環境シンポジウム論文募集 **（資料-26-1.9）**

主催：地盤災害リスクマネジメントと気候変動適応の融合に関する研究委員会，東日本大震災対応調査環境研究委員会  
地盤環境研究委員会，地盤環境企画委員会， 共催：日本大学工学部

2015 年 7 月 6 日（月），7 日（火）， 日本大学工学部 62 号館 3 階 6231 教室，6232 教室

- ・資料に基づき説明がなされた。

11. 日台合同ワークショップ(The 6th Japan-Taiwan Joint Workshop on Geotechnical Hazards from Large Earthquakes and Heavy Rainfalls) 開催報告 **（資料-26-1.10）**

- ・資料に基づき報告がなされた。

12. 地盤災害リスクマネジメントと気候変動適応の融合に関する研究委員会への共催依頼 **（資料-26-1.11）**

- ・資料に基づき説明がなされた。承認された。

V. 行事委員会関係

（全国大会担当）

13. 第 49 回地盤工学研究発表会（北九州大会）

- ・開催報告

- ・講演集 DVD の販売価格

定 価 19,121 円（本体 17,705 円）送料 450 円

会員特価 14,708 円（本体 13,619 円）

※本体価格は、前年と同額

- ・優秀論文発表者賞 **（資料-26-1.12）**

- ・請求書発送ミス **（資料-26-1.13）**

- ・地盤工学研究発表会の開催報告がなされた。

- ・振込手数料を雑費に入れるため，報告書に若干変更がある。また，助成金等の関係についても変更する可能性がある。

- ・優秀論文発表者賞について報告された。

- ・DVD と請求書の送付について 8 件の誤送があったことが報告された。

14. 本部プログラム編成に関わる留意事項 **（資料-26-1.14）**

- ・報告書に基づき説明がなされた。

- ・請求書払いできないところは申込み時に対応できるようにしたほうがよい。

- ・次年度に向けた知見を必ず申し送りする。

- ・各部署との連携をとる。

- ・大まかな編成は 2 月中～3 月中に行い，最終的プログラム編成は 3 月中に行ってしまう。

- ・座長への依頼について専門性を考えて配置する。

- ・クレームリストや配慮した項目などは次年度以降に文章化して必ず残す。

- ・副座長の設置について現実的には難しいと意見があった。

- ・プログラム編成に関連して会場数の増加について検討された。

- ・プログラム編成は調査研究部会のメンバーと発表部会（1～2名）を本部で最終チェックする
- ・予算は実行委員会から出す。
- ・以上のことが承認された

#### 15. 第50回地盤工学研究発表会（北海道地区）の準備状況

開催期日：2015年9月1日（火）～3日（木）

開催場所：北海道科学大学

- ・実行委員会の構成（メール審議済み） **(資料-26-1.15)**
- ・開催場所、時期、部会メンバーの報告がなされた。
- ・今後の委員会を開催して詳細について詰めていくと報告がなされた。
- ・日中地盤工学シンポジウムを同時開催したいという報告がなされた。現在、検討中である。8/31～9/2にかけて行いたい。
- ・展望講演は本部で決定、特別講演は地元で選出、両者は同時開催なので摺合せをしなくてはならない。

#### 16. 次々回以降地盤工学研究発表会の開催支部

**(資料-26-1.16)**

- ・資料に基づき報告がなされた。

(シンポジウム担当)

#### 17. 第59回地盤工学シンポジウムの現況報告

**(資料-26-1.17)**

- ・投稿依頼および募集期間延長
- ・資料に基づき報告がなされた。

#### 18. 東日本大震災シンポジウム「地盤工学会特別シンポジウム-東日本大震災を乗り越えて-」開催報告

**(資料-26-1.18)**

- ・資料に基づき報告がなされた。

### VI. 学術情報委員会関係

#### 19. 60周年記念DVD在庫処分状況

目標は26年度中の完売。販売価格を以下に設定。

1セット：4万6千円（半額）、3セット：13万円、5セット：20万円、10セット：36万円

特典は、1～3セット購入で電子図書室1ライセンス/年、5セット購入：2ライセンス/年、10セット購入4ライセンス/年

- ・資料に基づき報告がなされた。
- ・本年度中に全部販売することを目標とする。

#### 20. 電子図書室の運営・サービス改善

**(資料-26-1.19)**

##### 21. 図書室の整理

##### 22. ホームページ

- ・資料に基づき報告がなされた。
- ・地盤工学に関係ない本、雑誌は処分する。

### VII. その他

#### 23. 未収未払金の処理および再発防止策の検討

**(資料-26-1.20)**

- ・資料に基づき報告がなされた。

#### 24. 研究発表会の申込料未納

- ・資料に基づき報告がなされた。

#### 25. 理事会（平成26年9月26日（金））開催への審議事項・報告事項

[予備審議事項]

[審議事項]

[報告事項]

26. 総務部会（平成26年 月 日（ ）開催予定）への提案事項

27. 次回以降の部会・運営会議開催日

- ・26年度第2回調査・研究部会 :平成26年 9月 日（ ） 時～
- ・26年度第3回調査・研究部会 :平成26年 11月 日（ ） 時～

★ 平成26年度 理事会 開催日程（予定含む）

- ① 4月23日（水） ※書面審議
  - ② 5月16日（金）
  - ★ 6月12日（木） 総会／理事会
  - ③ 6月19日（木） ※書面審議
  - ④ 7月24日（木）
  - ⑤ 9月26日（金）
  - ⑥ 10月22日（水） ※書面審議
  - ⑦ 11月28日（金）
  - ⑧ 12月24日（水） ※書面審議
  - ⑨ 1月30日（金）
  - ⑩ 2月19日（木） ※書面審議
  - ⑪ 3月13日（金）
- 
- ⑫ 4月22日（水） ※書面審議
  - ⑬ 5月15日（金）
  - ★ 6月11日（木） 総会／理事会